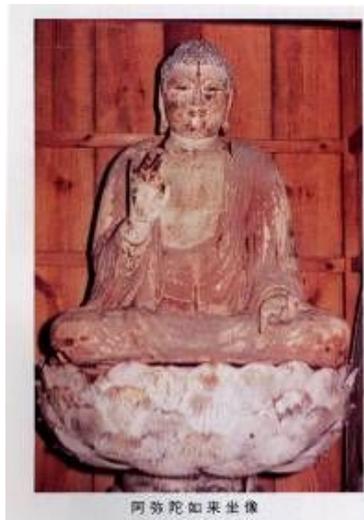


区分・種別	県指定有形文化財（彫刻）		
名称	もくぞうあみだによらいざぞう 木造阿弥陀如来坐像 1躯		
所在地	西予市宇和町小野田		
所有者	極楽寺	管理団体	
指定年月日	昭和32年12月14日		
解説	<p>この像は、極楽寺の本堂に安置されている坐像である。高さ82cm、胸幅49cm、膝幅69cmの寄木造で、はめこまれた玉眼には、いまでも輝きがある。</p> <p>左手は下に、右手は臂^{ひじ}を曲げて掌を胸前にかまえ、ともに第1指と第2指をまげて指先を接する来迎印^{らいごういん}を結んでいる。</p> <p>全体に白色の塗料が、螺髪^{らほつ}に群青^{ぐんじょう}が、口唇に朱が残り、螺髪は低く、法衣のひだも写実的で鎌倉時代中期の作といわれている。</p> <p>光背は二重円光で、これには鮮やかに彩色が残っている。また円縁があったようで小孔が残っている。光背は取りはずされ、坐像のそばに保存されている。蓮華座は、よく原形を保ち、作風とともに注目すべき仏像である。</p>		



阿弥陀如来坐像